

さつきやま魂

崎山中学校だより
12月24日 第16号
文責 校長 山下



今日で第2学期が終わり、明日から14日間の冬休みに入ります。コロナ禍の中、とても心配しましたが、2学期終業式を無事に迎えられたことを本当に嬉しく思います。

2学期は、「時と場に応じた爽やかな挨拶」を重点努力目標として取り組みました。地域の方からは「地域での挨拶の中に一言付け加える生徒がいる。」など、挨拶に対して褒めの言葉をいただきました。中には、朝から気持ちのよい挨拶をする生徒もいます。自然に爽やかな挨拶ができる生徒が、少しずつ増えていることを嬉しく思います。3学期も、「相手の目を見て、相手に聞こえる声で、相手より先に」爽やかな挨拶が木霊する学校を目指します。

今日の終業式では、1年代表の入江善幸君、2年代表の藤田あかりさん、3年代表の久保行輝君が、2学期を振り返っての反省と3学期に向けての課題を堂々と発表しました。私からは、冬休みに向けて、次の三つのお願いをしました。

- ・令和3年、新年を迎えるにあたり、頑張ればできるという志を立ててほしい。志とは、「心に思い決めた目的や目標」
- ・年末年始にあたり、家族の一員としての役割をしっかりと果たしてほしい。年末の大掃除、年始の挨拶など。
- ・事件、事故に遭わず、感染症対策もしっかり行うなど、体調管理に注意して、3学期には全員元気に登校してほしい。

第2学期終了

今年も残すところあと1週間となりました。令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校生活にも多大な影響がありました。3月と、4月から5月にかけての臨時休業、市中総体の陸上大会との同時延期開催、県中総体中止、運動会や合唱祭をはじめとする体験学習等の規模縮小による実施など、私自身も初めての経験でした。そのような中、開催方法の工夫をして、可能な限り行事等を実施してきました。その成果として、2学期の一人ひとりの着実な成長があります。今年一年、保護者の皆様には、御迷惑をおかけしながらも御協力いただき、本当にありがとうございました。どうぞ良いお年をお迎えください。



感染症予防について(お願い)

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大しています。長崎県においても、長崎市や佐世保市、西海市などでは、毎日のように感染者が出ている状況です。

本日、冬季休業中における新型コロナウイルス感染症の対応について(お知らせ)の文書を配付しました。五島市においても、いつ、どこで、だれが感染してもおかしくない状況です。先日のPTAの時にもお配りしましたが、参考資料として、裏面に「新しい生活様式」の実践例を掲載しています。各御家庭でも実践し、感染予防に努めていただきたいと思います。

花の寄贈で地域貢献

生徒会執行部の最後の活動として、崎山中学校で育てた花を、JA崎山支店、崎山郵便局、崎山駐在所、崎山出張所に寄贈し、地域貢献を行いました。



2学期最後の読み聞かせ

12月17日、今学期最後の読み聞かせを崎山小学校で行いました。1年生にとっては、初めての読み聞かせでしたが、とても上手にできました。川崎校長先生からも成長したことを褒めていただきました。



一年間よく頑張りました

生徒会退任式

12月23日、生徒会退任式が行われました。境脇生徒会長を中心に、自分たちでいろいろな活動を企画し、主体的に実践してきました。

先日は、生徒会企画の全校遊びを実施するなど、それぞれの公約も、しっかりと有言実行できました。退任式での一人ひとりの挨拶に、「やって良かった」という充実感があつたことは、とても嬉しく思いました。

新生徒会里中会長、藤尾副会長を中心とした次の生徒会執行部にも確実に引き継がれると思います。生徒会役員の皆さん一年間よく頑張りました。そして、お疲れ様でした。



＜令和2年生徒会執行部＞



＜生徒会企画全校遊び＞



「獅子舞に頭かじられ子ともの」 泣く声ひびく白浜神社

野瀬咲香

本校卒業生の作品で、一昨年の長崎新聞ジュニア歌壇年間賞に輝きました。今年も「ふるさと崎山」をテーマに和歌を募集します。

「新しい生活様式」の実践例

（１）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の３つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

（２）日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 □咳エチケットの徹底 □こまめに換気
- 身体的距離の確保 □「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



（３）日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

（４）働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 □時差通勤でゆったりと □オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン □名刺交換はオンライン □対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成